参考：国土交通省土木工事の脱炭素アクションプラン
～建設現場のカーボンニュートラルに向けて～（令和８年７月改定）

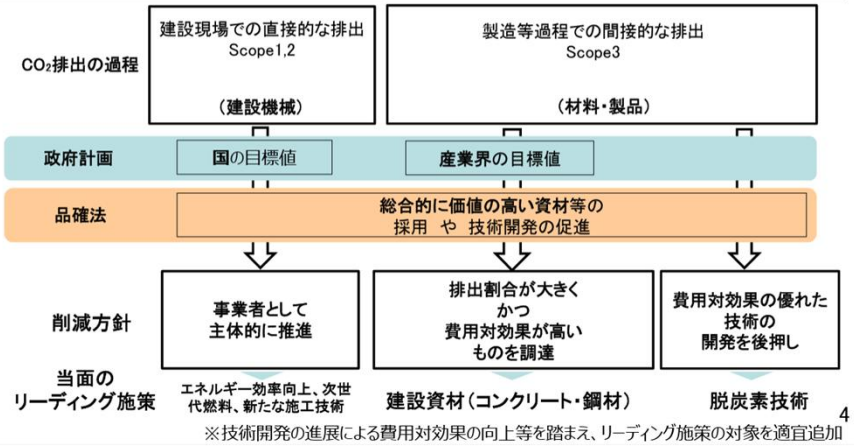
- アクションプランは、品確法の改正や地球温暖化対策計画等、政府計画の改定を踏まえて、国土交通省の発注する道路、治水等の土木工事において、脱炭素化に向けて先進的に取り組むことで、地方公共団体等による工事を含む建設現場の取組をけん引すべく、CO_2排出の過程に応じたリーディング施策のロードマップを定めたもの。

- 令和８年7月の改定では、CO_2固定化・吸収コンクリート等の研究開発、鋼材のロードマップの追加のほか、GHG排出量算定マニュアルの策定、工事でのGHG排出量算定の試行が位置づけられ、将来的に、表彰制度・工事成績評定等のインセンティブを予定。

CO_2排出量の削減方針

CO_2排出の過程：
・建設現場でエネルギーを消費し、直接的にCO_2排出に関わる**建設機械（Scope1,2）**
・製造過程等でエネルギーを消費し、建設現場が間接的に排出に関わる**材料等（Scope3）**

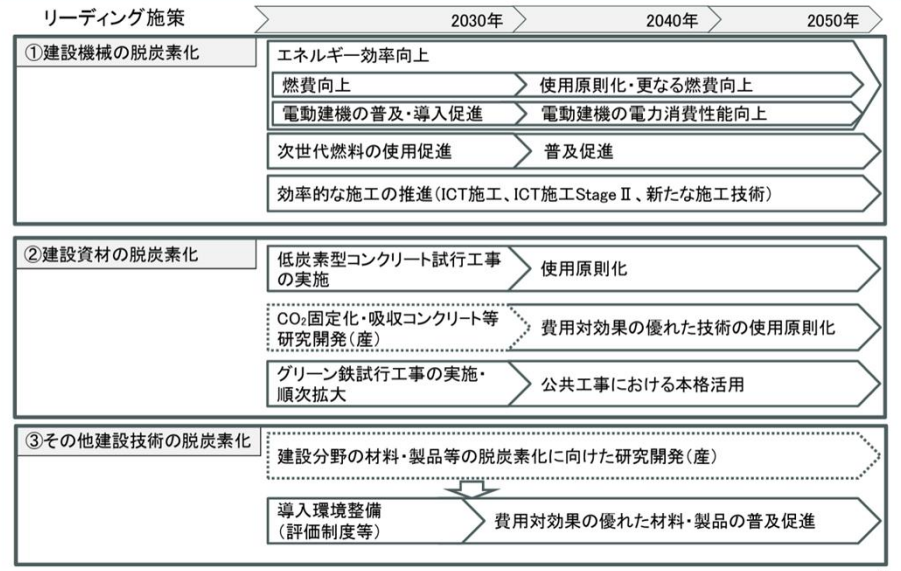
品確法や政府計画を踏まえた削減方針のもと、建設現場の脱炭素化を推進。



※技術開発の進展による費用対効果の向上等を踏まえ、リーディング施策の対象を適宜追加

4

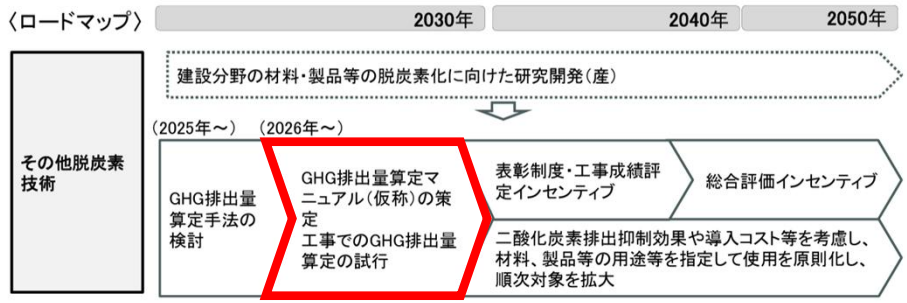
カーボンニュートラルに向けたリーディング施策



5

③その他建設技術の脱炭素化

○各企業による脱炭素に関する材料、製品等の技術開発が進んでおり、脱炭素材料等にインセンティブを与えるとともに、費用対効果に関する目標値を示すことで、削減効果向上や価格低減を促し、技術の開発・普及促進の好循環を構築し、建設現場における脱炭素化の取組の底上げを図る。



9

出典）国土交通省,https://www.mlit.go.jp/report/press/content/002014475.pdf